

「ドンドン語ろう！ in 花園（平成29年7月24日 花園公民館大ホール）」 意見交換内容 参加者：37名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>(1) 西回りバイパスの路線バス運行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城西校区から西区役所への路線バスの便が悪い。車で行けば簡単だが、バスで行こうと思えば交通センター経由は非常に大変である。 ・開通した西回りバイパスに、公共機関（路線バス）を通してほしい。西回りバイパスにバスがあれば西区役所まで行けるようになるし、さまざまな商業施設とも結ばれることになるだろう。検討をお願いする。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本都市圏全体の公共交通プランを考えているところである。大きな課題がいくつもある。 ・熊本市のように今後も地下鉄や鉄道の発展が見込めない都市で、将来の交通網をどうするのか。 ・バス会社は市内に複数あり、現状ではバスの利用が減って収益も減少している中、競合路線を見直して再編していくという動きもある。話の中に、今は運転できるからいいけれども、今は誰かが乗せて行ってくれるからいいけれども、という言葉もあった。しかし、将来の人口減を考えると、自動車に乗せて行ってくれる人も減少するということも考えなくてはならない。 ・そのような中、ただ、路線バスを走らせればよいわけではなく、目的地（買い物、病院、公共機関、施設）を結ぶことが大事である。ご提案の路線も含め、市民の皆様のニーズを反映するような、できるだけ少ないコストで移動しやすいような公共交通を考えたい。 ・他にも、芳野地域の40～50代世代の話題であるが、ここ、上熊本までの移動手段があればよいとの話もきく。拠点性の高い地点とどう結ぶか、デマンドタクシーの活用も含めて考えていかなければならないが、この例にもあるように、熊本都市圏全体を見て、総合的に考えていかなければならないと思っている。 	都市建設局	交通政策課
2	<p>(1) 花園小学校西門（柿原地区）の竹林処分について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の西門のあたりは、竹山があり、児童が狭い階段を125段下りて上って登下校している。その不便な通学路に竹林が覆い被さっていて危険な状態だ。所有者（県外在住）に連絡して竹林の対応をお願いしたが返事が無く、どう対応すべきか苦慮している。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先日、東区で竹林側から道路への倒木でお亡くなりになった事故があった。行政としても所有者に警告を行っていたが、民有地に立ち入って伐採することができなかった。今後、管理が不十分な竹林等については、行政としても所有者に対し対応を要請をしていく等できないかと思っている。財産権の問題など、法的にクリアしなければならない課題が多く簡単ではないことはご理解いただきたい。 <p>【北部土木センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民有地内の樹木に関しては、所有権の問題もあり行政としても対応に苦慮している。ご要望の場所については、現地を確認し、危険であると認識したところだ。地元の方に現場立ち合いをお願いしたい。通行人に危険が及ぶなら、市から公文書で所有者に連絡を取りたい。所有者の反応を見て市としてどの様な対応ができるか考えていきたい。 <p>-----</p> <p>【北部土木センター 総務課 追記】</p> <ul style="list-style-type: none"> 所有者に連絡し対応を依頼したところ、所有者からはお盆過ぎに対応するとの回答であったため、8月の最終週に現地確認したが未対応であった。 9月半ばに再度現地を確認したところ未対応であったため、所有者に対し文書等にて早急な対応を依頼したい。 	都市建設局	北部土木センター（総務課）
	<p>(2) 地震後の家屋被害への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅付近を都市バスが通行しているが、熊本地震以後、ひび割れしているのかバスが通るたびに家屋の揺れが酷くなった。近所の方もそうに感じているようだ。地震だからしょうがないと思っていたが、対応を検討してもらいたい。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路沿線にある家屋が地震の影響からか揺れやすくなっていることに対して何か良い対応があればと思う。 <p>【北部土木センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路沿線の方の家が揺れるとのお話をうかがった。地震によって道路の路盤が傷んでいることから、大型車両が通行する際に家屋が揺れるということも考えられる。ほかにも、地下埋設物の下水道、上水道の管路部分は山砂で埋め戻しているが、その部分が陥没している、流れている可能性もある。具体的にこの場所の揺れが酷くなったということを詳細にお知らせ頂ければ調査に伺いたい。 <p>-----</p> <p>【北部土木センター道路課 追記】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年7月下旬、地元自治会長と立会いを行った。道路の老朽化に伴い亀裂等が見受けられる箇所については、計画的に舗装補修工事を行うもの。また、ご意見者の自宅付近については、表面上、亀裂等が確認できなかったため、今後も振動が気になるようであれば相談するとのことでご了承いただいた。 	都市建設局	北部土木センター（道路課）

「ドンドン語ろう！ in 花園（平成29年7月24日 花園公民館大ホール）」 意見交換内容 参加者：37名

No.	ご意見	回答	局	担当課
3	<p>(1) 井場の下市営住宅跡地について 池田2丁目の井場の下市営住宅跡地を公園にしたいと、平成27年に市長に陳情したが、その後検討状況はどのようになっているか。</p>	<p>【市長】 ・地域の方から、井場の下市営住宅跡地をグランドゴルフ場として利用したい、トイレを設置してほしい等の要望をいただいていたが費用面の課題もあり話し合いをしていたところに、熊本地震が起きた。平成28年度にも要望を担当課にいただいているようだ。 ・市での利用が見込まれない未利用地は、原則として売却し、他の財源、例えば復興の財源にあてていく方針だ。しかし、売却可能となるまでの期間については、地元の利用も含め検討しているところである。売却の見通しがたない場所については、地域と協定を結んで地域の皆様に管理していただくといった対応ができないかなども含めて検討したい。 井場の下市営住宅の跡地については、現在すぐに売却できる状態ではないと確認している。未利用地を管理している資産マネジメント課と協議して、まちづくり担当から地域の方にお返ししたい。いますぐ、どうしますといった回答はできないがご理解いただきたい。</p> <p>-----</p> <p>【資産マネジメント課 追記】 まちづくりセンター同席のもと自治協議会の方々と協議を行い、要望の内容を確認した。要望に対する市の対応について検討中。</p>	財政局	資産マネジメント課
4	<p>(1) 防災士の育成について ・熊本市で防災士を育成してほしいと、2月に開催された「市長とドンドン語ろう！防災編in西区」で提案した。引き続きの提案、要望である。 ・熊本県危機管理防災課では、「火の国ぼうさい塾」を開催し、地域の防災リーダーを育成している。県へ問い合わせたところ、今年度は2回開催する（従来は年1回熊本市のみで開催されていた）が、開催地は熊本市ではない（八代市と県北）とのことだ。大変残念に思う。ぜひ熊本市内で防災士育成の講習会を開催して欲しい。</p>	<p>【市長】 ・防災士育成は市でも進めたいと思っている。防災士の資格取得は非常に重要で防災士のネットワークづくり・育成は私のマニフェストにも掲げている。 県主催の講座（火の国ぼうさい塾）に市からも多くの方に参加できる形で開催していただけると良いと思う。 例えば、議員の中に防災士の資格を取りたいという人もいると聞く。特に被災した自治体の議員に多く聞かれる話だ。 郵便局の局長は防災士の資格を持っているので局長とのネットワークが作れないかと考え、市と郵便局との打合せをしたいと思っている。 市としても防災士の発掘、育成を積極的にやっていきたい。</p> <p>-----</p> <p>【危機管理防災総室 追記】 ・火の国ぼうさい塾については、各地域からの開催要望があっており開催回数を増やすとともに本市以外での開催を検討されていることを県危機管理防災課から伺っているところ。防災士資格取得をはじめ地域の防災リーダー育成については、具体的な支援策を検討していく。</p>	政策局	危機管理防災総室
	<p>(2) 本妙寺仁王門の復旧について 花園地区では、まちづくり活動の一環として毎年本妙寺桜燈籠のイベントを行っているが、その中心的存在である本妙寺の仁王門が、熊本地震で被災した。重要文化財なので国・県・市から調査費用は支援があると聞いたが、修理費用は所有者（本妙寺）の負担と聞いた。 私ども地域としてもなんらかの支援ができないかと思っているが、利用できる補助金等を探している。情報があれば是非提供いただきたい。</p>	<p>【市長】 ・本妙寺の桜灯籠に関連し、仁王門の早期復旧は非常に重要なことであると認識している。しかし、文化財については、手続きも含めて時間がかかる問題である。 ・文化財の復旧について、熊本県の復興基金が活用できないか、また、国からの予算措置について精力的に陳情を行う等、努力していきたい。時間がかかるがご理解いただきたい。</p> <p>-----</p> <p>【文化振興課 追記】 ・本妙寺の仁王門は国登録有形文化財であり、被災文化財復旧復興基金により、これまで公的支援の対象外であった工事費（復旧費）についても、支援対象とされたところ（補助率2/3）。 ・現在、文化庁の指導も受けながら、所有者により調査等が行われている状況であり、今後、復旧工事に進んでいく際には、復興基金による確実な支援が行われるように、市としても助言や協力を行ってまいりたい。</p>	経済観光局	文化振興課

「ドンドン語ろう！ in 花園（平成29年7月24日 花園公民館大ホール）」 意見交換内容 参加者：37名

No.	ご意見	回答	局	担当課
5	(1) 本妙寺の迂回路の整備について 本妙寺の頓写会が開催された。大人も子どもも大変多くの方々がお参りされた。仁王門は通れなかったが、八角堂へ迂回し参道を上がった。石段の安全確保もしっかり行った。 仁王門の復旧も大切だが、現状としては、桜灯籠や頓写会のためには迂回路をしっかりと整備したほうが早いと思うので、整備をよろしく願います。	【市長】 ・仁王門の修復に時間がかかるなら迂回路も含めて検討すべきとのご意見をいただいた。地元の皆様からのご意見を伺いながらどういう方法があるかを検討していきたい。 【北部土木センター】 ・成道寺の入口部分については、確かに入水が多く通りにくいということは認識している。平成26年4月に要望いただき、平成27年に地元の皆様とワークショップを開催した。民有地のため対応しかねるとその時点では回答していた。平成28年に境界確定し成道寺の敷地内であるとあらためて確認した。 ・いいアドバイスができないか確認したい。再度土木センターにご相談いただけないか。	都市建設局	道路整備課
	(2) 成道寺敷地内の整備について おかげさまで、花園インターの共用が開始された。このことを機に、花園インター周辺整備について、区役所から現地確認をしてもらい、さまざまなアドバイスをもらいながら、事業を進めてもらった。この里山には絶滅危惧種が21種生きているなど、貴重な里山でもある。配慮の行き届いた多目的広場を整備してもらい、子ども達も憩い生物観察もできるような成道寺川の整備もしてもらった。大変感謝している。 しかし、もう一点お願いしたい。 成道寺の境内に行くまではコンクリート舗装の立派な市道が通っているが、市道が切れた途端に境内地（けいでいち）で上から水がどンドン流れ長靴を履かないと参門に行けない状況である。民有地なので市で整備することは難しいと市から回答をもらっているものの、成道寺で整備することは現実的に難しい。排水パイプを通し、砂利を敷けば解決すると思われる。花園インター周辺整備の一環として検討していただくなど柔軟な対応をお願いしたい。	----- 【北部土木センター道路課 追記】 平成29年7月26日(水) 地元自治会及び成道寺住職と立会いを行った。民地内の問題であるため、現時点では熊本市による積極的な工事が難しいことを再度説明した。今後は花園まちづくりセンターと共に地元と協議を続けたい。	都市建設局	北部土木センター (道路課)
6	(1) まちづくりセンターについて 本日配布されたリーフレットで、まちづくりセンターを設置し、地域担当職員が配置されたことは分かるが、コンセプト、取り組みの元々の課題などは、今日の説明ではじめてわかった。設置に至った経緯がわかる資料を、たとえば今回の市長説明の資料をぜひ参加者に配布してほしい。	【市長】 ・ドンドン語ろうの資料の件については、コンセプトをもっと分かりやすいものになるよう工夫したい。 なぜ、まちづくりセンターを設置してまちづくりを進めていくのか、その背景を住民の皆さんに共有していただくこと非常に重要だと思う。ありがたいご提案であるので、検討させていただきたい。 ----- 【広聴課 追記】 ご提案を踏まえ、次回開催前から、まちづくりセンターの設置に至ったことわかる資料（A4用紙数枚程度）を、参加者の皆様へ配布することとした。	市民局	広聴課
	(2) 豪雨の際の市の対策について 水害の対応についてお願いがある。 熊本市では、昭和28年の6.26水害、平成24年九州北部豪雨などの水害が発生している。特に平成24年九州北部豪雨の際には、阿蘇付近で1時間に125mm降ったと市の資料に載っていた。1時間に120～150mmの降水量があったときには、ここ井芹川付近では2～3m浸水すると言われている。そういった場合の市の対策は大丈夫なのか。大丈夫でなければ、どのような対策が講じてあるのか、今後どのように対応していくのかなどについて聞きたい。	【市長】 ・最近ではゲリラ豪雨が発生したり、局所的に線状降水帯が停滞して山間部に非常に多量の雨が降るといふ厳しい状況になっている。国土交通省には、白川河川整備計画も含めた国直轄河川の整備について十分な対応をしてほしいとお願いしているところである。国土交通省からは、九州だけではなく全国各地で災害が発生しており、国土交通省もどこからするとは言えないとのことであったが、九州は水害の常襲地帯であるとともに、台風も来るということもあって災害が激甚化しやすいということは認識されている。 ・白川の氾濫対策も大切だが、今は中小河川の氾濫が増えている。先ほども指摘があったように、大雨が降れば、2～3mの浸水の状況になりうるということである。その時、国、県など河川管理者が十分に対応していただくことに加え、市も排水機場など精一杯の整備をしていきたい。 ・ただし、ハード面の整備だけでは、なかなか間に合わない。避難をどうすかとの話になる。地域の災害対応の協議会などで一時的避難場所を指定するなど、より現実的な内容にしていかなければならないと思う。まさに、機能しなかったというご指摘を受けた。 ・避難は、台風、大雨、土砂災害、地震と災害の種別に応じて状況は変わってくる。地震の場合は突然起きるが、大雨の場合は多少予見できる場合があるので、明るいうちに避難をするということが鉄則である。市としては予防的な避難を徹底して呼びかけていこうと思っている。そういうときに、地域担当職員も一緒に頑張りながら地域の防災対策のための協議を皆さんとともに作り上げていく。できるだけ早く逃げていただく、その誘導を行う、現実的な避難場所を考え、収容できるか検討し、現実に即した対応を考えていきたい。	政策局	危機管理防災 総室
	(3) 水害と熊本地震の教訓、その後の防災対策について ・私たちの水害と地震の避難所は井芹中学校となっている。通常の避難所としては井芹中学校でよいが、今回の地震の経過を見ると、期間も含めて、とても収容しきれない。そういったこともあり、私どもの地域では県立体育館を緊急一時避難場所として指定していた。熊本地震の際には、4月14日に600名、4月16日に1,100名の方が避難され、6月末まで避難所の運営を行った。 ・その時の問題が、県立体育館は熊本県の施設であるので市は対応できないということであった。 ・過去に、市では地域におけるハザードマップ作成の方針が示され、我々は2年かけてマップを作成し、平成27年12月の防災訓練の際に皆様に市職員も交えて説明を行った。その130日後に熊本地震が発生した。しかし、その際、私どもが緊急一時避難場所にしてきた体育館は開かなかった。（数時間後には開いた。）日頃から話し合いを行い、地図も作って準備をしていたが、結果的には機能しなかった。 ・このような熊本地震の教訓が、今後の、市の防災対策にどう生かされていくのか聞きたい。	政策局	危機管理防災 総室	

「ドンドン語ろう！ in 花園（平成29年7月24日 花園公民館大ホール）」 意見交換内容 参加者：37名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>(4) 仮設入居期限の延長について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなし仮設に避難されている方が結構いらっしゃる。これは来年の5月か6月に期限が切れる。そこから出て行かねばならない時期に、まだ住む家が見つからない、家を建てられないといった、みなし仮設から移れない方について、できれば、延長をしてもらえればと思う。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなし仮設、プレハブ仮設については、来年の4月、5月頃から期限を迎える方が増えてくる。みなし仮設については、災害救助法の適用主体が政令市に移管されていないので、熊本県と国とが協議を行い、最終的に国が判断するということになる。 ・現時点では、国から明確な話はない。しかし、ご指摘のとおり事態が発生することが考えられるので、みなし仮設、プレハブ仮設の方ができるだけ早く恒久的な住宅に移れるよう、市では7月1日から伴走型の住まい確保の支援策を、独自にスタートさせている。 ・期限を延長させたとしても、仮設であるのでいつかは仮の姿を終えるときがくる。そのため、できるだけ早く恒久的な住まいへ移るための支援をしたい現在、伴走型の支援を進めており、公営住宅の斡旋も予定しているの、いろいろご相談をいただければと思う。 	都市建設局	震災住宅支援課
7	<p>(1) 西回りバイパスの開通予定等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島崎の西回りバイパスであるが、花園・池上線、野口・清水線の完成予定はいつ頃になるのか。 ・それに関連して、コミュニティバスの話だが、上熊本車庫から段山・島崎線のほうに接続しているが、そこを通過して西区役所に行くのが一番いいのではないか。西区役所に行く需要や採算性が重要だとの話ももっともであるが、西回りバイパスが完成した折には、ぜひ公共交通網の整備を交通審議会等で検討していただきたい。不便である。 ・バス路線の意見の際に、西区役所へ行く必要があるのかという話があったが、自治会や民生委員等の会議は西区役所で開催される。例えば池田、花園の地域については、市職員が西区役所から花園まちづくりセンターへ出張して会議を開催してもらえればありがたい。 	<p>【熊本駅周辺整備事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花園・池亀線の駅周辺整備を担当している駅周辺整備事務所から回答する。 ・都市バスの上熊本営業所所在地から花園・池亀線など島崎に繋がる西回りバイパスについては、重点路線として取り組んでいる。現在、平成34年度完成を目途として整備を進めているところである。 ・入り口の案内については、入札不調が続いており、決定次第、表示板を設置したい。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通については、西区役所へ行くニーズがどれだけあるか、今後はさらに住民皆様のニーズを調査していく必要があると思う。 ・一方で、民生委員の方々の会議などもそうだが、西区役所に行かずともできる方策を考えることも必要かと思う。 <p>市役所の会議は、タブレットを活用したTV会議を開催するなど、そういう時代になっており、通信機器を活用することで交通面をカバーできうる。自治会の会議も区役所へ行かずともよい方策はないだろうか。今後も、地域の皆様の利便性を考えながら取り組んでいきたい。</p>	都市建設局	駅周辺整備事務所 交通政策課
	<p>(2) 池亀踏切の案内表示について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池亀踏切については、4、5年かけて車が通行できるように整備してもらった。お世話になった。感謝する。 ・信号機が3つあり、間違える人が多い。すでに市に伝えてあり、駅周辺整備事務所も承知していると思うが、信号機の下に池亀町、上熊本3丁目と早めに案内表示を設置してもらえればありがたい。 		西区役所	総務企画課
	<p>(3) 市有地の跡地利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの説明で、市では市有財産を売却方針であることは理解できるが、公共的な見地から、地域への無償譲渡ということはできないだろうか。それは無理だとしても、市有地の跡地利用については、地元と市の関係で検討してもらいたい。 	<p>【市長】 (No.3で回答済み)</p> <p>-----</p> <p>【資産マネジメント課 追記】</p> <p>市として活用の見込みのない土地については、売却を基本的な方針としている。売却するまでの間や当分売却が見込めない土地については、ご要望の趣旨を踏まえつつ、個別に利活用の検討をしていきたい。</p>	財政局	資産マネジメント課
	<p>(4) コンパクトシティについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前、コンパクトシティという計画があり、上熊本地区も15地域の中のひとつとなっていた。現在その計画はどのようになっているのか。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトシティについては、立地適正化計画を策定して進めており、上熊本地区はひとつの大きな地域拠点である。 ・地域拠点を地域生活圏に居住する住民の暮らしを守る最後の砦として、人口減少下においても、そこに医療・商業等の都市機能を維持確保するとともに、地域拠点とそれぞれの地域の活性化などをよく検討してまちづくりを進めていきたい。皆様にお知らせしながら進めていく。 	都市建設局	都市政策課

「ドンドン語ろう！ in 花園（平成29年7月24日 花園公民館大ホール）」 意見交換内容 参加者：37名

No.	ご意見	回答	局	担当課
8	<p>(1) 刀をテーマとした観光戦略について</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本地震によって観光に来られる方が激減している現状だと思う。実際に、城西・花園地域への観光客も少なくなっていると感じる。熊本城に行けなくても、それをカバーできるような観光資源がこの地域にはあるので、それを活用できないか。 いま、10代～30代ぐらいまでの若い方を中心に「刀」がブームとなっている。刀については、本妙寺に洞田貫まさくに、桜の馬場には名刀（かせんかねさだ）があるし（※注）、先日はいまも復元された。若い方が見たいと思っている人気の刀を、民間の美術館と市と連携して収集し一か所で展示すれば、その地区に集客でき、熊本市全体の観光戦略として有意義ではないか。市と民間が協力してそういった催しができないか。熊本には、そういうことをやりたいと考える若い人が自分も含めて多い。ゲームのキャラクターを描いたタクシも走っている。そのような有志と熊本市とでなにかできないか提案したい。 <p>(※注) 名刀（かせんかねさだ）については、平成29年10月現在は細川護立が設立した永青文庫に所蔵されている。（観光政策課）</p>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県全体でみたとき、観光面で特に打撃が大きいのは、集客力の大きかった阿蘇である。熊本城が170万人の集客であったのに比し阿蘇は1200万人だったのが激減している。このことが、熊本市も含めた県内の観光に打撃を受けている。そういう中で、熊本城も見ただけのエリアを広げていこうとはしているが、現在は、それ以外の観光資源をどんどん見出し、磨いていく、逆境をチャンスと捉えてやるしかないと思っている。 来年、NHK大河ドラマで「西郷（せご）どん」が始まる。西南戦争の時代に注目が集まることになるだろう。熊本城だけでなく、西区エリアも、北区の田原坂を含む植木地域なども、描かれていくと思う。歴史的なストーリー性を内包する地域には魅力があり、磨いていかなければならない。 そのような中、まさに「刀」ブームが起こっているの、そこをきっかけにして、さまざまな観光資源に結び付けていく必要がある。 島田美術館もそうであるし、西区で言えば宮本武蔵ゆかりのものがある。これは、若い方だけではなく、外国人の方に対しても観光資源として非常に有効である。今後も、アイデアを地域担当職員に提供いただきたい。 観光政策課にも話をしておく。ブームが来ているときに乗っておかなければ意味がない。 <p>-----</p> <p>【観光政策課 追記】</p> <p>最近、刀剣鑑賞を目的に各地の美術館等を訪れたり、刀剣関係の書籍を購入したりする日本刀を好む若い女性、いわゆる刀剣女子が増えているとのことである。</p> <p>このような中、本市でも西南戦争140周年田原坂西南戦争資料館1周年企画展として「刀の力」イベントを本年2月19日から3月20日まで開催した。</p> <p>また、その他、島田美術館「戦国無双の刀剣展IN熊本」・「お守り刀展覧会」、熊本県立美術館分館「エヴァンゲリオンと日本刀展」、肥後の里山ギャラリー「阿蘇神社展 刀剣の美」をすでに開催している。</p> <p>本市としても、刀剣に着目した取り組みについて、今後もひきつづき民間や他自治体と連携してまいりたい。</p>	経済観光局	観光政策課 文化振興課
9	<p>(1) 高齢化対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> この上熊本エリアについては4月で24.9%の高齢化率となっている。西区全体も高齢化率が高いが、特に花園校区の高齢化率は33.1%と3人に一人という状況で、市の平均の10年先を走っている状況である。 そこで、今後、もし高齢化対策のモデル地区を設けることがあれば、人口も比較的多く、農山村地区でもないこの上熊本地区は、他の区のモデル地区になりうる。検討してほしい。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化対策のモデル地区として上熊本エリアをとの提案をいただいた。このエリアは立地の良さがあるので、都市部の高齢化対策を考えていく上でモデル先進地区として考えていくことは、非常にいいアイデアではないかと思う。高齢化率が高いことを逆手にとって、交通、買い物、まちづくりなどを考えていければと思った。 <p>【西区長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西区の健康まちづくり事業については、校区単位で進めており、皆様方にもご協力をいただいているところである。 西区における高齢化対策については、今年度からまちづくりセンター、福祉課、保健子ども課及びささえりあなどの組織と地域の関係団体が連携して、保健福祉の課題を検討する「花園支援チーム」を6月に設置した。高齢化対策等の地域課題解決についても、7月から協議を行っており、来年度は花園まちづくりセンターをモデルとして取り組んでまいりたい。 	健康福祉局 西区役所	高齢介護福祉課 福祉課 保健子ども課 花園まちづくりセンター
	<p>(2) 子ども会への加入促進策について</p> <ul style="list-style-type: none"> 10年前は子ども会への加入が60世帯であったが、現在は子どもが42人いるにもかかわらず、加入が20人ぐらいになった。現在、子ども会への加入が非常に少ないため、自治会でいろいろな行事を行うにしても、一体感に乏しい状況がある。保護者にもいろいろな事情があると思うが、できれば学校やまちづくりから「子どもは地域で育つ」ということを市として示してほしい。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども会の加入率は7割程度である。お世話される方（育成者の方）が、責任もあり、あれもこれもと負担感もあって敬遠されるようだ。 しかし、本来は、子ども会の会長の任は子どもが担うものであり、子どもたちが組織されるものである。今、シニアリーダー、ジュニアリーダーと、高校生、中学生ががんばって活動している事例もあり、このような子どもたちとリーダーづくりができていければと思う。 <p>-----</p> <p>【生涯学習課 追記】</p> <p>平成29年度当初に子ども会に関するチラシを作成し、小学校を通して保護者に子ども会の意義や目的等についての情報提供を行い、加入促進に努めるなど、単位子ども会の支援に取り組んでいる。</p>	市民局	生涯学習課

「ドンドン語ろう！ in 花園（平成29年7月24日 花園公民館大ホール）」 意見交換内容 参加者：37名

No.	ご意見	回答	局	担当課
10	<p>(1) 自主防災クラブの運営及び放送設備への助成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年から自治会長として、震災後の地域住民の方と話し合いながら、自主防災クラブの再結成に取り組んだが、なかなか進まなかった。この頃、やっと連絡体制ができつつあるところである。 ・この地域は谷が二つあり、急傾斜地があり危険箇所が多く、下は浸水地域である。そのため連絡が取りづらい。放送設備があればと思う。今後、放送設備の助成はないだろうか。 ・今後も地域での話し合いの場を設けようと思うので、地域担当職員の支援についてよろしく願いたい。北部土木センターへもよく訪問しているがとてもよく対応してもらっており、ありがたく感謝している。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災クラブについては、80%ぐらい設立できているが、認識している方が20%ぐらいしかいないという現状であり、有名無実化しているところがある。連絡体制の見直しを行うことで運営ができているということもあるので、地域担当職員と一緒に声掛けをしていただければと思う。 ・放送設備については、防災行政無線のような大掛かりな設備は簡単には、いまここで設置できずとは答えられない。合併町など既に整備されているところでは、どう活用するかは課題がある。防災ラジオの助成は行っているが、放送設備の助成については、地域担当職員から回答をお返ししたい。 <p>-----</p> <p>【危機管理防災室 追記】</p> <p>災害時における情報伝達手段については、防災行政無線、災害情報メール、緊急速報メール、緊急告知ラジオや消防団による広報など伝達手段の多重化に取り組んでいるところ。</p> <p>なお、町内放送設備整備への支援については、7月末に各区地域コミュニティづくり支援補助制度の案内を花園まちづくりセンターがおこなった。</p>	政策局	危機管理防災総室